

# 大磯町第四次総合計画

## 中期基本計画を策定

町では、『紺碧の海に緑の映える住みよい大磯』をまちの将来像とし、目標年度を2020年度(平成32年度)とする、総合的・計画的なまちづくりの指針である第四次総合計画基本構想を2006年(平成18年)に策定しました。

この総合計画に掲げる基本構想を受けて、2011年度(平成23年度)から2015年度(平成27年度)までの5年間を計画期間とする中期基本計画を策定しましたので、概要をお知らせします。

なお、策定にあたっては、町民アンケートの結果や町民意見交換会などを通じ、多くの町民の皆様からいただいた意見をもとに、総合計画審議会で審議し、検討を重ねてまいりました。

◎問い合わせ 政策課 内線 205

### ●総合計画とは…?

総合計画は、まちづくりの目標であるまちの将来像を掲げ、それを実現するための施策を明らかにするための計画で、総合的・計画的に事業を進めていくための指針となり、基本構想、基本計画、実施計画により構成されています。

#### 基本構想 (15年間)

目指すべきまちの将来像と、これを実現するための施策の方向性を明らかにするものであり、総合的・計画的なまちづくりを進めるための指針となるものです。

#### 中期基本計画 (5年間)

基本構想を実現するため、町として重点的に取り組む施策を示すとともに、町の現況と課題や今後取り組んでいく施策の概要等を体系的に示したものです。

#### 実施計画 (3年間)

基本計画で示した施策を実際に行うための具体的な計画です。

### 重点プロジェクト

地域の活力の源は「人」にあります。地域に暮らす人が活力を持ち、豊かに暮らしていることが、他の地域からも人を引きつけ、来訪者や定住者を増やしていくことにつながります。

そのため、今後5年間の中期基本計画では、「交流人口の増加と定住人口の安定化」を目標に、地域の様々な資源を活用しつつ、町民が自ら認識し、経営する町の実現を目指し、3つの重点プロジェクトを掲げて地域振興を図ってまいります。

#### (1) 地域資源を活かした観光推進プロジェクト

大磯の地域資源である自然資源や、明治期以降の邸宅などの歴史的・文化的資源、豊かな農産物や海産物などを積極的に活用し、大型宿泊施設を中心とする観光産業との連携の強化、魅力ある周遊ルートの開発、名物や特産品の開発などにより、本町の魅力を高め、町外から訪れる人口(交流人口)の増加を町民などとともに目指します。

#### (2) 豊かな自然に囲まれた快適な暮らしを守る環境保全プロジェクト

大磯の財産である豊かな緑と水の環境を守り活かすことで、大磯らしい、落ち着いたある都市空間の保全を図ります。また、自然環境への負荷を極力減らし、再生可能な資源の利用を促進するなど、環境に配慮したまちづくりを進めます。

自然環境保全に向けた様々な取組を町民との協働で推進し、対外的にPRすることにより、大磯への愛着を高める一方、町外からの来訪者にも大磯の魅力を感じていただき、魅力ある都市空間とあわせて、大磯のファンとなる町外の人々の拡大を町民などとともに目指します。

#### (3) 安心して心豊かに暮らせる地域づくりプロジェクト

大磯に住んでいる人々が健康で安心して幸せに暮らせるように、健康づくりや医療・教育・食育環境を充実させ、また、働いている人にとって子育てがしやすく、高齢者にとっても住み慣れた土地でいつまでも心豊かに暮らしていける環境を整えます。さらに、人生の達人とも呼ぶことができる多様な知識や経験を有する人材を、次世代を担う人材の育成や様々な活動や計画づくりに積極的に活用し、町民がいきいきと活動する地域ぐるみのまちづくりを町民などとともに目指します。

まちの将来像を実現するため、2つの基本理念のもと、5つのまちづくりの目標を定め施策を推進します。

